

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上 場 取 引 所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<http://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機

検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております



TOYO ELECTRIC CORPORATION

第76期 上半期報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

目次

トップインタビュー

**改革を成し遂げ、
実りある成果につなげよう。 p1**

TOYOのものづくり

**太陽光発電システム系統連系用
低圧絶縁変圧器 p4**

セグメント別概況 p5 連結決算概要 p7

社員インタビュー p9 トピックス p9

会社概要／株式状況 p10



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

改革を成し遂げ、実

Q 景気は上向いているといわれますが、企業の設備投資などに変化は見られますか。

A 当中間期は、エンジニアリング部門と機器部門の回復により増収増益となりましたが、依然として先行きは不透明な状況が続いているとの認識です。受注環境は、長らく設備投資を手控えられていたお客様がようやく動き始めたという実感です。当中間期の業況は、売上は伸びましたが、本社移転費用や春日井新社屋の建設に伴う減価償却費の負担増など、費用が増加しています。

Q 主なセグメントの取り組みはいかがでしたか。

A 国内制御装置関連事業は、エンジニアリング部門で印刷制御装置分野や監視制御装置分野が回復基調にあり、円安効果もあって売上を伸ばしました。配電盤分野はMCC（モータコントロールセンタ）を中心に採算性重視の受注活動を行ったことにより、売上は減少しました。新分野であるMAGIC BEEのシステム関連製品は、温度の監視・管理システムに採用されました。今後は社会インフラ関連製品とMAGIC BEEのシステム関連製品を2本柱に、さらに需要の掘り起こしを図る予定です。

機器部門は、国内大手エレベーターメーカーが、エレベーター用光センサのリニューアル化を図り当社製品が採用されました。MAGIC BEEは大手自動車メーカーの生産管理にも使われ始めており、今後に期待しています。

変圧器部門は、データセンタ向けや太陽光など新エネルギー向けの乾式変圧器や西日本を中心とした地域防災関連の需要が順調でした。

海外制御装置関連事業は、中国国内の日系エレベーター

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。当中間期は、6月より事業部制に移行し、8月には春日井新工場が竣工し、本社機能を同工場に移転いたしました。これを機会に、もう一段上の高みに向けて、新たな課題設定と飛躍に向けた挑戦を続けてまいります。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

松尾 昇光

りある成果につなげよう。

メーカーと連携し、ビル建設の需要に対応しています。今後は、中国向けに仕様を見直す計画です。着床センサは、第一弾の投入が終わり、続いてマルチビームセンサを準備中です。タイ工場は、中国・南京工場から輸入したエレベータ用光センサの検査・出荷を行い、タイ国内への出荷が始まりました。2015年半ばには現地生産・現地販売を開始し、近い将来、ASEAN（東南アジア諸国連合）地区からインド、中東までをカバーする計画です。

樹脂関連事業は、大手自動車メーカー向け樹脂関連製品のテストが続いています。自動車の軽量化と燃費向上に寄与するものとなるだけに、長期ビジネスの一つとして期待しています。

Q

このほど組織の見直しが行われました。主な変更点とそのねらいについてお聞かせください。

A

試行錯誤を重ねた結果、事業本部制から事業部制に戻しました。利益に責任を持つ「エンジニアリング」「機器」「変圧器」の3つの事業部に加え、

「管理本部」「市場開拓本部」「経営企画本部」からなります。各事業部には権限移譲を行い、意思決定の迅速化とともに業績に対する責任を果たしてもらうようにしました。国内・海外の市場開拓部門は「市場開拓本部」として一本化し、新規開拓を続けるほか、関係が希薄になっている既存のお客様にアプローチを進めます。私自身は、引き続き営業のバックアップと市場開拓に力を入れる決意です。

Q

2020年の東京オリンピック開催が決まりました。開発を進めてきた水中における高速可視光通信装置の進捗はいかがですか。

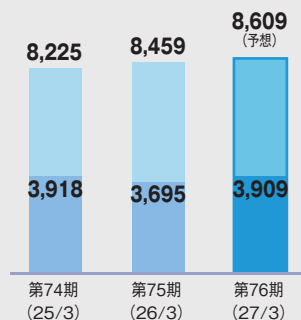
A

完成すれば世界初の水中通信装置となります。水中からの音声・画像・データの送信にはいま話題の青色LEDが使われています。10月に開催されたアジア最大級のIT・エレクトロニクスの総合展「CEATEC JAPAN 2014」に試作品を展示しました。2015年度中には実用機まで持っていく計画です。共同検証を進めてい

決算ハイライト

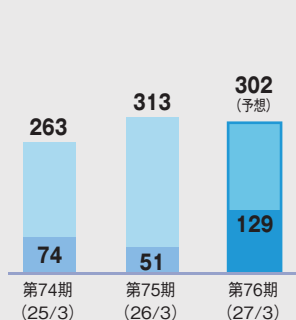
売上高

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



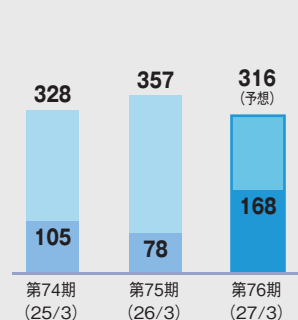
営業利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



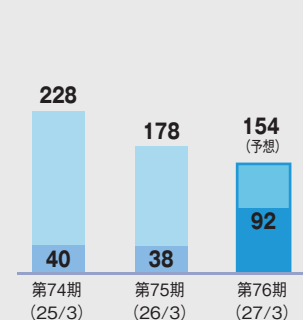
経常利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



純利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)





る日本放送協会（NHK）では、既にこの装置を使い水中からの音声・映像を送る番組づくりを進めていると聞いており、放送されることを期待しています。

Q

創業70周年が間近に迫ってきました。今後に向けた社長の抱負をお聞かせください。

A

2年前の社長就任以来、「タイへの進出と工場の稼働」「春日井新工場の建設と本社の移転」「組織改革と事業部制への移行」などの課題に取り組んできました。中でも海外展開は、東洋電機グループの「飛躍のカギ」です。Thai Toyo Electric Co.,Ltd.は2015年度中には軌道に乗せ、中国・南京工場と同様の働

トップインタビュー

きを期待する一方、中国事業は再構築を図る考えです。海外では“現地化”が何よりも重要です。現地スタッフの国内研修など積極的に行い、近い将来、現地の運営は現地任せたいと考えます。

東洋電機グループの創業70周年に向けての目標は、売上100億円です。次なる飛躍を達成するには、若手の底上げと女性の登用は“待たなし”と考えます。一人ひとりが成長し、自立してこそ、企業は本物の変革が可能となり、新たな成長を勝ち取ることができます。皆が働きやすい環境を整えることこそ、トップの重要な役割です。株主の皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

通期の見通し

売上高

8,609百万円
前期比 1.8%増

営業利益

302百万円
前期比 3.4%減

経常利益

316百万円
前期比 11.7%減

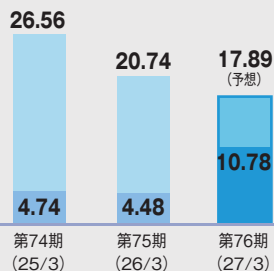
当期純利益

154百万円
前期比 13.8%減

決算ハイライト

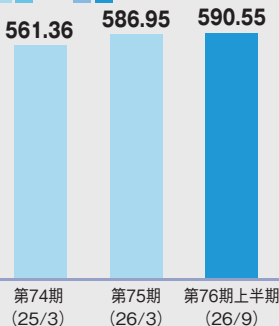
1株当たり純利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:円)



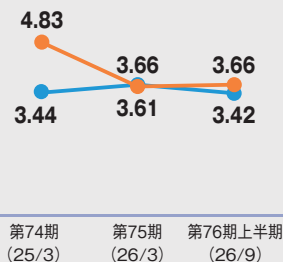
1株当たり純資産額(BPS)

■ 通期 ■ 上半期 (単位:円)



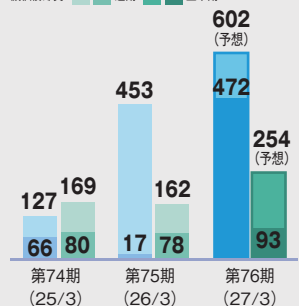
株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)

● 株主資本利益率 (ROE) ● 総資産経常利益率 (ROA) (単位:%)



設備投資額/減価償却費

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 (単位:百万円)



T・O・Oのものづくり

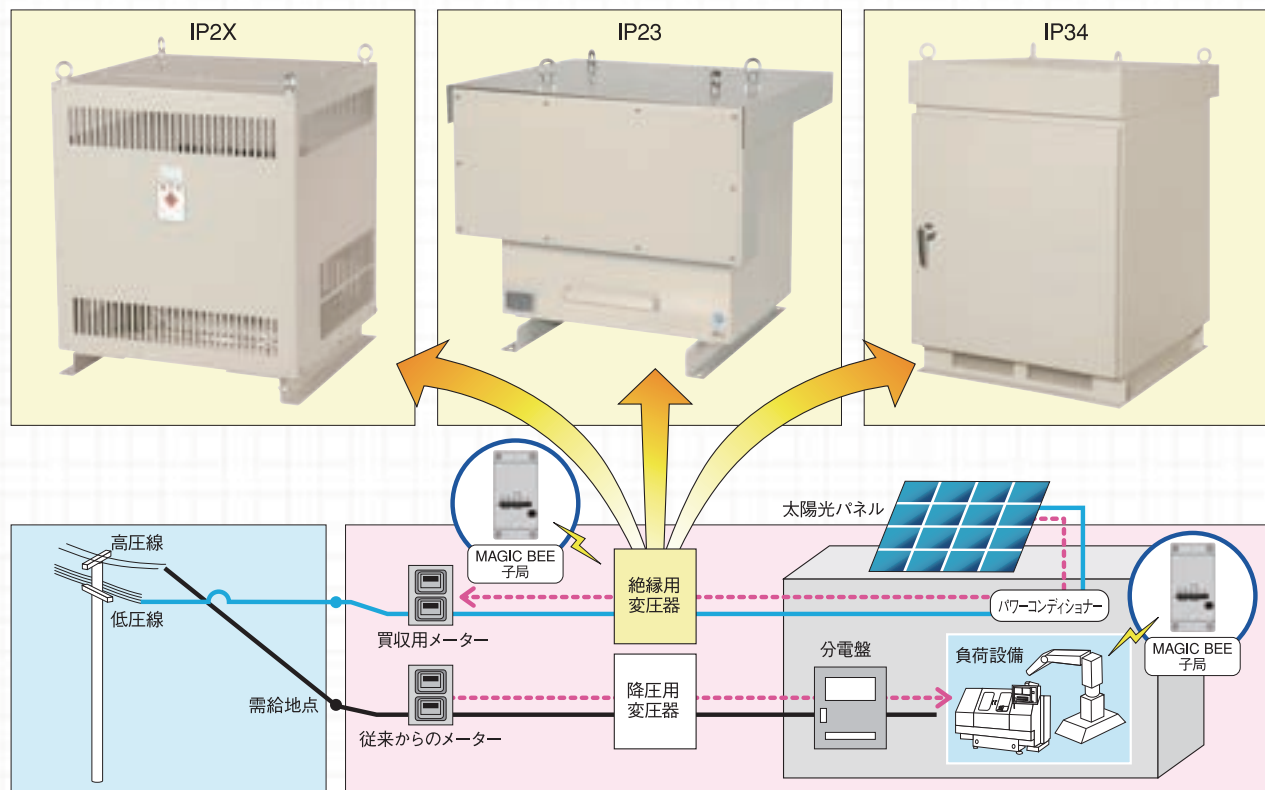
製品紹介ファイル
No.7

変圧器関連製品

太陽光発電システム系統連系用 低圧絶縁変圧器

太陽光発電システムと、電力会社の低圧配電線との間で
系統連系を行うための専用変圧器です。

小規模な太陽光発電システムでは、売電時に低圧のまま電力会社の低圧配電線に接続し、系統連系を行います。この時、太陽光発電システム側での故障や何らかの異常事態が、系統側に影響を及ぼすことは避けなければなりません。そのため、電力会社側から、系統側と太陽光発電システムの間を変圧器で絶縁するよう、要求される場合があります。本製品は、そのための専用変圧器で、50kVA以下という低圧系統連系の規定に合わせてシリーズ化しています。



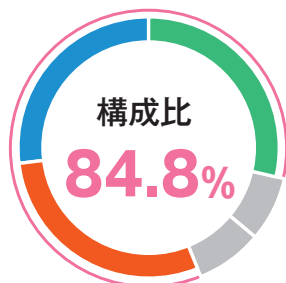
セグメント別概況

(平成26年9月期)

I. 国内制御装置関連事業

売上高 **3,317** 百万円
前年同期比 7.7%増

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は3部門から構成されており、3部門の売上高がそれぞれ伸長したことにより売上高は3,317百万円(前年同期比7.7%増)となりました。



内 訳



エンジニアリング事業部



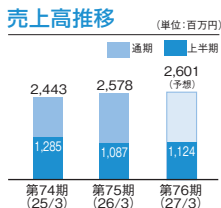
機器事業部



変圧器事業部

エンジニアリング事業部 売上高 **1,124** 百万円 前年同期比 3.4%増

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、採算性を重視した受注活動を展開したことにより、配電盤分野が減少したものの、監視制御装置分野が増加したことなどにより、売上高は1,124百万円(前年同期比3.4%増)となりました。



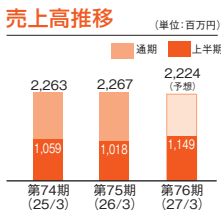
鉄道関連製品「無人駅高声電話機」

主な主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー(IPR)
- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 宛名紙印刷搭載機

機器事業部 売上高 **1,149** 百万円 前年同期比 12.8%増

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、表示器の需要が低迷したものの、エレベータセンサ需要の回復による、センサ分野の増加ならびに空間光伝送装置分野が増加したことなどにより、売上高は1,149百万円(前年同期比12.8%増)となりました。



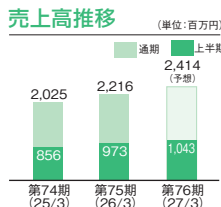
空間光伝送装置

主な主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器
- 交流電力調整器
- 情報表示器

変圧器事業部 売上高 **1,043** 百万円 前年同期比 7.2%増

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、前年度下期後半における駆け込み需要の反動を受け、主要取引先からの需要が減少したものの、データセンター向け受配電用乾式変圧器などが伸長したことなどにより、売上高は1,043百万円(前年同期比7.2%増)となりました。



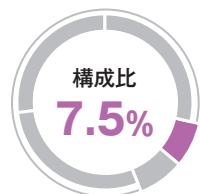
乾式変圧器 TKHⅢシリーズ

主な主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル

Ⅱ. 海外制御装置関連事業

売上高 **292** 百万円
前年同期比 3.4%増

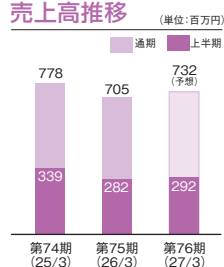


海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にある Thai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの検査販売を平成26年4月より開始しております。

当事業は、アジア市場はじめ、海外エレベータセンサ需要が伸長したことなどにより、当事業の売上高は292百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

なお、当事業と国内制御装置関連事業における機器部門とは、日本向けエレベータセンサなどの製品群において進料加工生産を行っております。

売上高推移



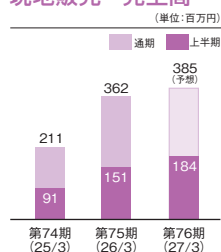
主な主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
高圧受配電盤
コントロールセンサ
PLC応用制御盤



C型コントロールセンサ

電子部門の現地生産 現地販売 売上高



- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co.,Ltd.)

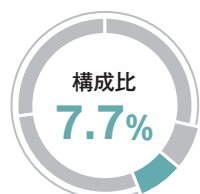
マルチビームセンサ
かご位置確認用センサ



エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

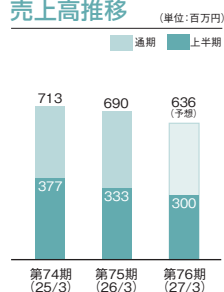
Ⅲ. 樹脂関連事業

売上高 **300** 百万円
前年同期比 10.0%減



樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂(株)が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、樹脂関連製品の売上が自動車関連部品材料の需要増を受け伸長したものの、前連結会計年度末に道路交通安全資材分野を撤退したことから売上が剥落したことにより、売上高は300百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

売上高推移



主な主要製品

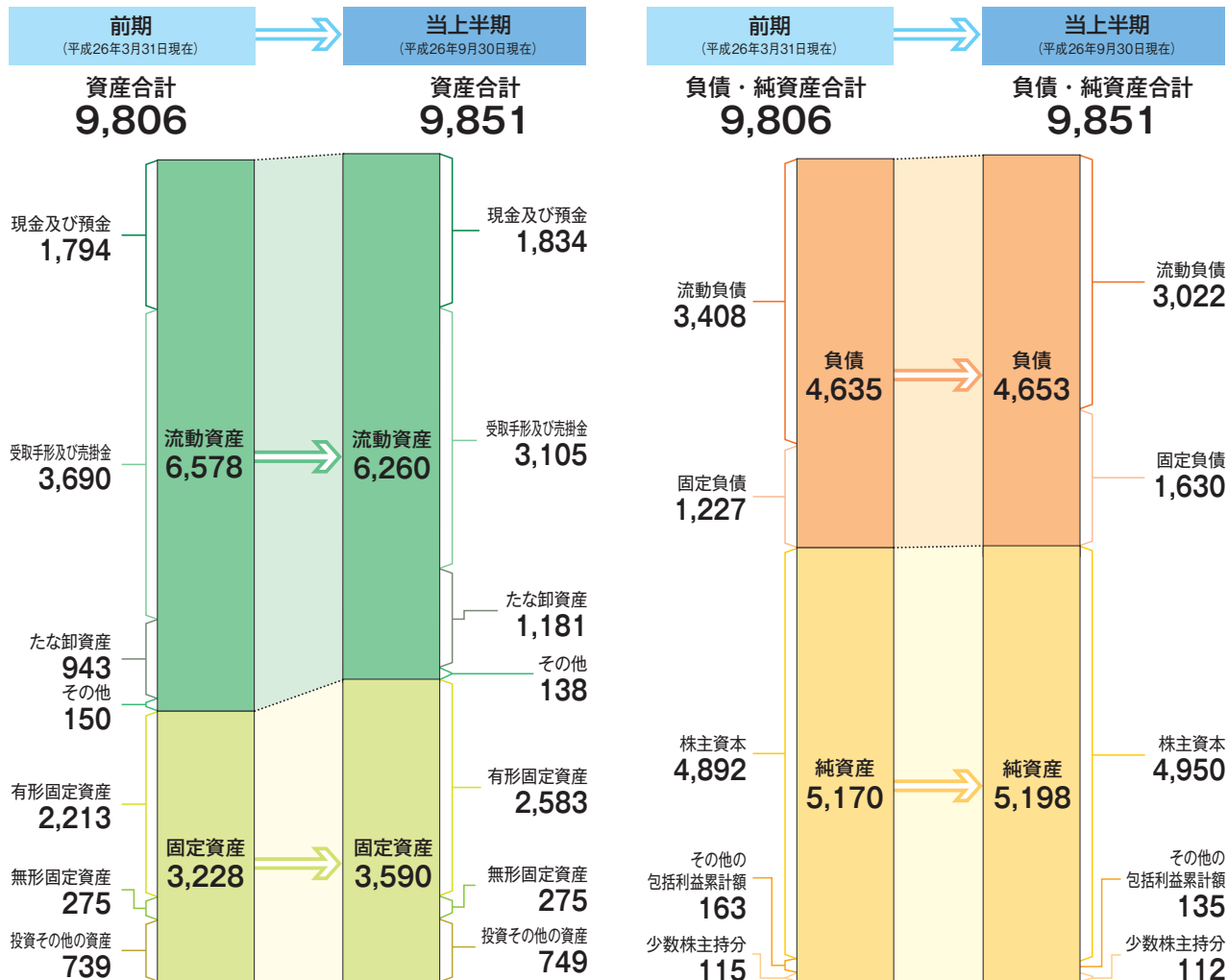
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



樹脂ペレット

連結決算概要

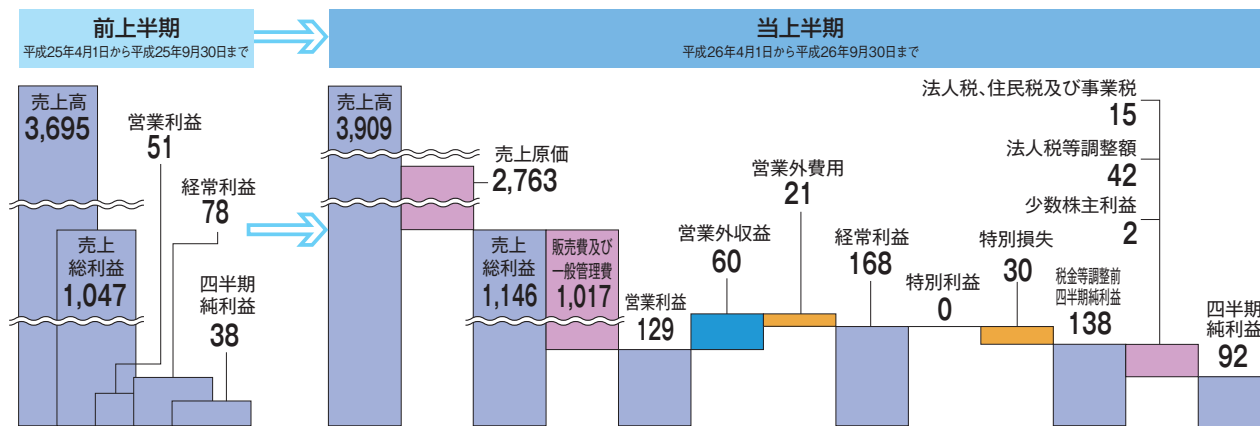
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



POINT

総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことにより流動資産は減少したものの、春日井工場の建替えにより、有形固定資産が増加したことにより前期末比44百万円増加し、負債は、主に短期借入金や未払法人税等など流動負債が減少したものの、長期借入金など固定負債が増加したことなどにより前期末比17百万円の増加となりました。なお当上半期の純資産は、利益剰余金の増加などにより27百万円増加しました。

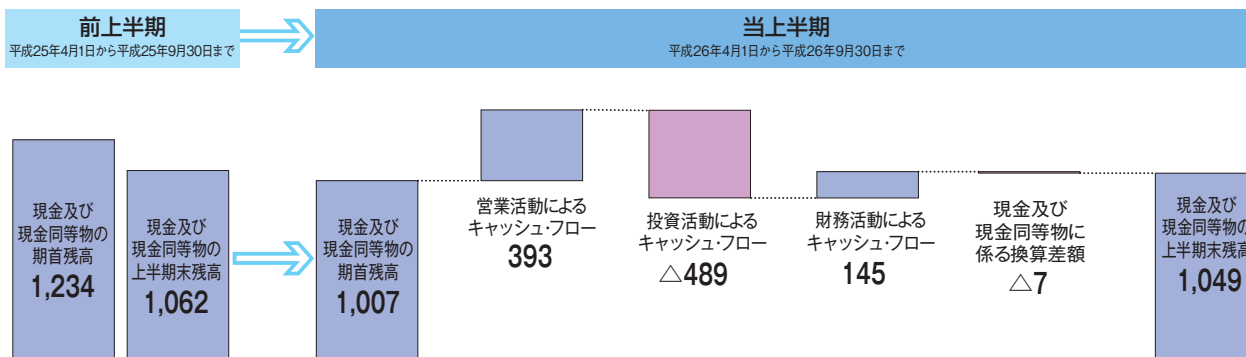
連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT

当期の売上高は、生産性向上に向けた春日井工場の建替え、タイ王国新設子会社によるアジア市場における需要対応、市場開拓部門による高速水中可視光通信装置等の新技術開発など、新たな事業基盤の構築に積極的に取り組むとともに、原価改善、業務効率化推進など、収益力向上に努めた結果5.8%増収となりました。利益面では、売上高の増加ならびに売上原価率が減少したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益は、増益となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ12百万円減少し1,049百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少、たな卸資産の増加などにより393百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより489百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、長期借入れによる収入、長期借入金の返済などにより145百万円となりました。

社員インタビュー

謙虚に学び、 いつか大きな仕事を

 変圧器事業部技術部技術課 渡邊隆史

客先への技術的な窓口となって、一品物の変圧器の設計を行っています。今、手掛けるのはアモルファス鉄心を使った乾式変圧器。通常の変圧器は稼働していないときでも待機電力が発生しますが、アモルファスを使った変圧器は一般的な変圧器に対し待機時の電力消費が6分の1程度に抑えられます。夜間に駆動しない太陽光発電装置の省エネルギーに有効です。

職人が一つずつ手づくりする変圧器は、作業工程に配慮すると同時に、顧客設置場所に合わせた設計を行う場合もあります。製造コストも常に頭におきつつ、販売価格や納期を考慮しながら、資材調達窓口と材料確保の交渉も進めています。

アモルファスとの出会いは、営業担当者からの「やってみないか」との一声でした。興味もわき、始めることにしました。東日本大震災後の太陽光発電の動きと重なり、受注に結びついて達成感につながりました。

今、入社からちょうど10年目です。大学で専攻した電気



に関われる仕事をということで東洋電機を選びました。管理者をのぞくといつの間にかチームの中では一番上になりましたが、エンジニアとしてはまだまだ半人前です。変圧器以外の技術も習得し、仕事の幅をさらに広げたいと考えています。

プライベートでは2歳の女の子の父親。帰宅する頃には娘は寝ていて、朝しか顔を合わせるチャンスはありませんが、週末は親子3人で買い物などに出掛けるのを楽しみにしています。就寝前の30分、今も電気関係の専門書を手にもすることも多いです。継続することで、自由にやらせてもらえる社内の期待に応え、いつか大きな仕事を任せてもらえるようになりたいです。

トピックス

第76期 上半期のトピックスをご紹介します。

春日井工場本館の新社屋が完成

春日井工場本館の新社屋がこのほど完成しました。これまで神屋工場にあった本社事務所をこの新社屋に移転し、本年8月18日より営業を開始しています。

- 本社事務所の連絡先は、以下の通りに変わりました。
〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191（代表）



会社概要/株式状況

(平成26年9月30日現在)

▶ 会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業部	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社 (愛知県小牧市) 東洋電機ファシリティーサービス株式会社 (愛知県春日井市) 東洋板金製造株式会社 (愛知県春日井市) 南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市) Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	230名(連結528名)

▶ 役員

代表取締役会長	松尾隆徳	
代表取締役社長	松尾昇光	
取締役	松村和成	社長付兼南京華洋電気有限公司董事
取締役	丹羽基泰	経営企画本部長
取締役	加藤信	管理本部長
取締役	清水純一	市場開拓本部長
取締役	加藤茂男	エンジニアリング事業部長
取締役	堀睦英	機器事業部長
常勤監査役	森正一	
監査役	有賀重介	
監査役	葛谷昌浩	

(注) 監査役有賀重介および葛谷昌浩の各氏は、社外監査役であります。

▶ 株式の状況

発行可能株式総数	18,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	9,388,950株 (自己株式776,274株を含む)
株主数	602名

▶ 大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	855千株	9.96%
東洋電機従業員持株会	637千株	7.42%
東洋電機取引先持株会	510千株	5.94%
株式会社商工組合中央金庫	465千株	5.42%
株式会社百五銀行	428千株	4.99%
松尾隆徳	364千株	4.24%
松尾昇光	307千株	3.57%
トーヨーテクノ株式会社	289千株	3.36%
日本生命保険相互会社	250千株	2.91%
第一生命保険株式会社	250千株	2.91%

(注) 持株比率については、自己株式(776,274株)を控除して算出しております。

▶ 株式分布状況

